

未来にむけてグローバル都市の実現をめざそう !!

～世界から集まってくる人々が笑顔あふれる暮らしをおくられるように、
世界に岩手・盛岡らしさを発信していこう～

I 関係機関との連携にむけて

提言1 行政・大学・研究機関、産業界からなるオールいわての推進

(総務政策委員会)

ILCは世界にただ一つ建設される基礎科学の研究拠点であり、真の国際拠点となる。ILCは岩手のみならず東北全体の復興ひいては日本の再生にもつながる国際プロジェクトであることから、オールいわての体制が整備され、東北一丸およびオールジャパンへと気運を醸成させるかが重要であり、そのために私どもはILCを実現することの意義を行政・大学・研究機関・産業界がよく理解し、それぞれが有する資源・機能を有効に活用、連携できるように本提言を推進してまいりたい。

II まちづくりにむけて

提言2 未来にむけたグローバル都市～暮らしやすいまちづくりと知の拠点～をめざして

(まちづくり委員会)

「豊かな自然環境」「地域の文化・まち並み」と融合したまちづくりをめざし、研究者らが安心して生活できるような住環境や、国際コンベンションを開催するための施設・体制等を整備するとともに、自然・歴史・文化・食材等を満喫できる多様なアクティビティを提供する都市の整備を進める。また、産学官連携による新産業創出等を促進し、持続的に成長する「知の拠点機能」を持つ都市づくりを行う。

提言3 再生可能エネルギーを利用した環境にやさしいまちづくり

(環境問題特別委員会)

「環境にやさしいまち」をめざし再生可能エネルギーを利用したまちづくりを推進する。化石燃料エネルギーから再生可能エネルギーへの代替を進め、地域内で資源が循環する「エネルギーの地産地消」を促進するとともに、東日本大震災津波のような災害に左右されない自立したエネルギー体系の確立したまちづくりを推進する。

III 外国人対応にむけて

提言4 自然と科学が織りなす国際的な歴史・文化都市「MORIOKA」へ

(観光国際委員会)

外国人が安心して生活できるような「国際都市 MORIOKA」をめざす。そのため「来訪者を導く」「来訪者を案内する」ことを念頭に盛岡市内に掲示されるサイン類の見直し、WiFi設備の充実、

ボランティアガイドの育成などを行う。さらに、「国際都市 MORIOKA」を世界にアピールするための新たなイメージづくりを行う。

提言5 外国人研究者が研究に専念できる生活環境と家族がなじめる地域づくり

(税制問題特別委員会)

外国人研究者とその家族が安心して快適な暮らしをおくることができるよう、居住・生活全般・医療・教育・交通等各分野の環境整備に取り組む。

また、ILCを国際的な地域社会を創造する大きな機会ととらえ、身近な文化交流を経て将来の「国際交流都市」への発展をめざし、次代を担う若者や子供を中心とした様々な国際交流を推進する。

IV 企業の参入にむけて

提言6 国家戦略特区構想に関連した生活基盤の確立と地元企業の参入にむけて

(中小企業振興委員会)

国家戦略特区申請を念頭におきながら、外国人研究者の金融取引にかかわる信用保証への対応、国内未認可医薬品への対応、外国人子弟の教育体制の拡充など外国人研究者等の生活全般の利便性を向上させる。

研究施設等のアウトソーシング業務について、研究施設等と地元企業双方向の各種の情報交換を行い、地元企業主体の研究会を組織するなど地元企業の受注を進める環境づくりを行う。

研究開発分野における研究者のニーズと地元企業の技術のマッチングを目的とする情報統合ポータルサイトの新設、見本市等の開催により地元企業の参入機会の拡大を促進する。

提言7 意欲ある地元企業が参入するための仕組みづくりと加速器関連産業の集積にむけて

(産業育成特別委員会)

ILCの建設や運用に伴う業務に地元企業が参入することは、地元企業の技術力や信用力を高め、地域に新たな雇用や産業を生み出すきっかけとなるほか、加速器関連産業が集積することは、次世代の新技术や新産業の土台を作り、高い成長力につながるものである。

そのためには、地元企業が参入できる分野や可能性、障壁等を把握し、参入機会を検討・拡大するとともに、企業誘致のための環境整備や誘致企業のニーズに応えられるような産学官の連携と人材の高度化を進めていく。

V 広報戦略にむけて

提言8 ILCのブランド化と世界にむけた岩手ブランドの魅力発信

(盛岡ブランド創出特別委員会)

岩手県民がILCと地域のかかわりを深く知り、将来を担う子どもたちに夢と希望を与えるILCのブランド化にむけた活動を展開する。ILCについて積極的に学ぶことができるよう体験型学習施設等を利用したILCの情報発信拠点を設ける。ILCの実現を契機に岩手・盛岡の魅力とおもてなしの精神を全世界に発信する。

盛岡商工会議所 ILC 実現検討会議 提言協議の経過

開催日	会議名等
H25. 12. 25	盛岡商工会議所 ILC 実現検討会議 設置
H26. 1. 17	【会議】 第1回 ILC 実現検討会議
2. 3	【会議】 観光国際委員会 (第1回)
2. 15	【公開講演会】 岩手の未来を拓くシンポジウム～ ILC 建設実現に向けて～ <第1部> 「ILC が秘める “内なるグローバル化”」 講師：NPO 法人 J-Win 理事長 内永ゆか子 氏 <第2部> 「技術設計書完成後の ILC」 講師：東北大学大学院 准教授 理学博士 佐貫 智行 氏 参加者：約450名
2. 18	【会議】 環境問題特別委員会 (第1回)
2. 18～19	【視察】 高エネルギー加速器研究機構 (KEK)、関連企業等の視察 ILC の実現に伴う加速器産業の集積に向け、高エネルギー加速器研究機構、関連企業等の視察を行った。 参加者：玉山副会頭、廣田専務理事ほか47名
2. 21	【会議】 総務政策委員会 (第1回)
2. 21	【会議】 中小企業振興委員会 (第1回)
2. 25	【会議】 盛岡ブランド創出特別委員会 (第1回)
2. 27	【会議】 産業育成特別委員会 (第1回)
2. 28	【会議】 まちづくり委員会 (第1回)
3. 5	【会議】 税制問題特別委員会 (第1回)
3. 7	【視察】 柏の葉スマートシティ現地視察会 ILC 実現に向け国際学術研究都市の形成についての理解を深めるため、国際学術研究都市・次世代環境都市「柏の葉キャンパスタウン」において公民学連携によるまちづくりに取り組んでいる千葉県柏市を視察した。 参加者：玉山副会頭、小暮副会頭、廣田専務理事ほか32名
3. 18	【会議】 観光国際委員会 (第1回)
3. 20	【会議】 中小企業振興委員会 (第2回)
3. 25	【会議】 まちづくり委員会 (第2回)
4. 9	【会議】 産業育成特別委員会 (第2回)
4. 14	【会議】 第2回 ILC 実現検討会議
4. 21	【会議】 まちづくり委員会 (第2回)
4. 24	【会議】 中小企業振興委員会 (第3回)
5. 8	【会議】 盛岡ブランド創出特別委員会・税制問題特別委員会・中小企業振興委員会合同委員会 講師：高エネルギー加速器研究機構 (KEK) 広報室 高橋 理佳 氏 演題：ILC の広報活動
5. 16	【会議】 総務政策委員会 (第2回)
5. 28	【会議】 中小企業振興委員会 (第4回)

開催日	会議名等
H26. 6. 10	【会議】 環境問題特別委員会 (第2回) 講師：岩手大学農学部 准教授 伊藤 幸男 氏 演題：木質バイオマスでつくる新しい地域社会・経済
6. 20	【調査】 高エネルギー加速器研究機構 (KEK) アウトソーシング状況ヒアリング 調査内容：KEK に関連する取引企業の発注・入札状況について
6. 26	【公開講演会】 <第1部> 「宇宙の始まりに素粒子で迫る」 講師：LCC 副ディレクター 東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構 機構長 村山 斉 氏 <第2部> 「ILC の社会的役割」 講師：リニアコライダー国際推進委員会 委員長 東京大学素粒子物理国際研究センター センター長 駒宮 幸男 氏 <第3部> 「ILC の現状と未来に向けて」 講師：ILC 戦略会議 議長 東京大学素粒子物理国際研究センター 准教授 山下 了 氏 参加者：約600名
6. 27	【会議】 税制問題特別委員会 (第2回)
7. 15	【会議】 観光国際委員会 (第2回)
7. 22	【会議】 まちづくり委員会 (第3回)
7. 23	【会議】 盛岡ブランド創出特別委員会 (第2回)
7. 25	【会議】 中小企業振興委員会 (第4回)
7. 25～26	【視察】 スプリング8・播磨科学公園都市視察 世界最高性能の放射光施設 (SPring-8) と周辺のまちづくりを視察した。 参加者：廣田専務理事ほか28名
7. 31	【会議】 総務政策委員会 (第3回)
8. 7	【会議】 第3回 ILC 実現検討会議
8. 20	【会議】 中小企業振興委員会 (第5回)
8. 20	【会議】 環境問題特別委員会 (第3回)
8. 22	【会議】 合同委員会 (8委員会合同) 講師：先端加速器科学技術推進協議会 (AAA) 事務局長 松岡 雅則 氏 (三菱重工業株式会社 機械・設備システムドメイン事業戦略統括室 事業開発推進部 技術開発グループ長) 演題：AAA の取り組みと ILC に関するものづくり
8. 27	【会議】 産業育成特別委員会 (第3回)
9. 2	【会議】 まちづくり委員会 (第4回)
9. 3	【会議】 盛岡ブランド創出特別委員会 (第3回)
9. 4	【会議】 税制問題特別委員会 (第3回)
9. 5	【会議】 観光国際委員会 (第3回)
9. 9	【視察】 高エネルギー加速器研究機構 (KEK) 産業視察 参加者：斎藤副会頭ほか39名
9. 19	【会議】 総務政策委員会 (第4回)
9. 24	【会議】 第4回 ILC 実現検討会議

盛岡商工会議所 ILC 実現検討会議委員名

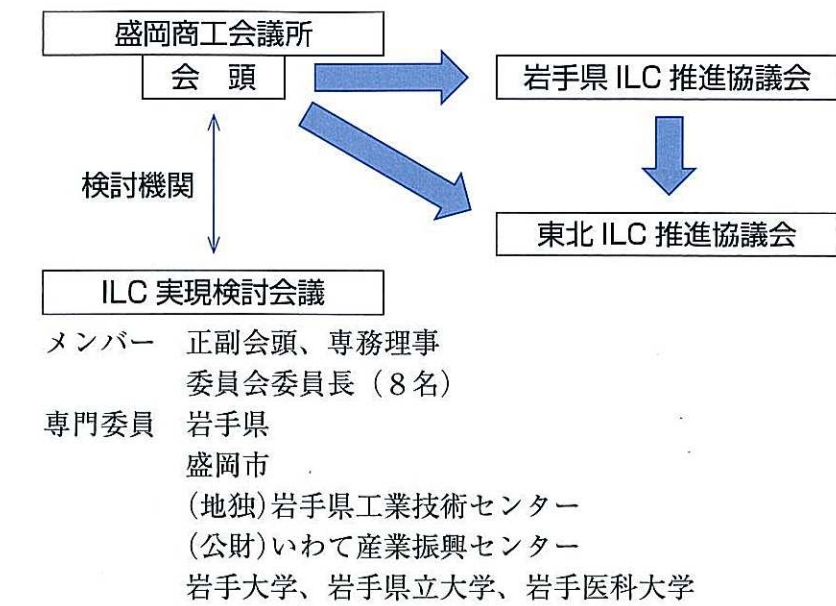
[委員]

氏名	盛岡商工会議所役職
(議長) 谷村 邦久	会頭
玉山 哲	副会頭
斎藤 雅博	副会頭
小暮 信人	副会頭
高橋 三男	副会頭
廣田 淳	専務理事
浅沼 新	総務政策委員会・委員長
熊谷 祐三	中小企業振興委員会・委員長
川村 宗生	観光国際委員会・委員長
佐藤 利久	まちづくり委員会・委員長
岩根 修象	税制問題特別委員会・委員長
佐藤 善通	環境問題特別委員会・委員長
林 晶子	盛岡ブランド創出特別委員会・委員長
竹中 陽一	産業育成特別委員会・委員長

[専門委員]

氏名	所属・役職
大平 尚	岩手県政策地域部副部長兼政策推進室長
谷藤 裕明	盛岡市長
黒澤 芳明	(地独)岩手県工業技術センター 副理事長
吉田 拓	(公財)いわて産業振興センター 常務理事兼事務局長
堺 茂樹	岩手大学 学長
中村 慶久	岩手県立大学 学長
小川 彰	岩手医科大学 理事長・学長

盛岡商工会議所 ILC 実現検討会議会則等



○主な検討課題

- ①国家戦略特区構想と ILC 建設について
- ② SPC (特定目的会社) 等民間活力を利用したまちづくり開発手法について
- ③まちづくり基本構想について
- ④家族が安心して暮らせる生活基盤の整備について
- ⑤意欲のある企業の参入への仕組みづくりと関連産業の集積について
- ⑥地元大学との連携について
- ⑦国際化に関することについて
- ⑧広報活動に関することについて

盛岡商工会議所 ILC 実現検討会議会則

- (目的) 本検討会議は、国際リニアコライダー建設実現に向けた課題の中で、県都盛岡市としての必要な各種調査・研究等を行うとともに、岩手県、関係自治体、岩手県商工会議所連合会、東北 ILC 推進協議会、岩手県 ILC 推進協議会等と連携を図りながら、その活動の支援を目的とする。
- (名称) 本検討会議の名称は、盛岡商工会議所 ILC 実現検討会議(以下「検討会議」というと称する。
- (議長) 検討会議の議長は会頭が務める。会頭が欠席の場合は、副会頭が代行する。
- (構成) 検討会議は、正副会頭、専務理事、委員会及び特別委員会の委員長をもって構成するとともに、専門委員として関係機関に会議の参加を依頼する。また、必要に応じて部会長の参加を依頼する。
- (招集) 検討会議は、会頭が招集する。
盛岡商工会議所の常設委員会及び特別委員会は、ILC 建設実現に向けた課題の調査・研究を行い、総務政策委員会がこれを取りまとめ、検討会議に報告する。
- (その他) この会則に定めるもののほか本検討会議の運営上必要な事項は、会頭が別に定めるものとする。

附 則 この会則は、平成25年12月25日から施行する。